

「第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会 総会・研修会並びに住民プログラム 丹波篠山市大会」に参加して 半邊 宗五

5月22日から24日までの3日間、丹波篠山市において行われ、全国から約250人の参加者がありました。

文科省の所見から始まりまして、丹波篠山市、神戸市、金沢市、長野県戸隠などの特色を生かした取り組みが、継続的な活動で実を結び、地域活性化へとつながっていることが発表されました。移住促進のための各地の取り組みのなかで、丹波篠山市福住地区では、移住者のために、10年前から1ヶ月間5万円で5人から8人が泊まれる一軒の家を貸し出し、その1ヶ月間の生活の中で、近所との付き合い、新築の場合はどのような制約があるのかを知る、子供のいる家庭では学校の様子を授業参観できる等の体験をすることができます。このことで移住者の心にこの町は住みやすいという気持ちとその参加した体験がIターンUターンに繋がるということでした。

また、前総理大臣 菅義偉 氏の特別基調講演があり、丹波篠山市が国のモデル地域として活動した経緯が説明されました。2025年には万博が行われ2800万人が集まる予定、そのうち1,500万人が観光に回るなどの効果があり、全国の伝建地区の活性化を進めてもらうようにとの話でした。福住地区では移住促進事業が行われ、20部屋が移住者に向けて改修され活用しております。昔の宿場町の家は空き家状態から、宿泊施設や特別養護老人ホーム、飲食店、大学生の活動拠点などになり、2012年度は20,277人の観光客であったものが2021年には47,665人と増加し、人口も増加しました。特に若者夫婦と子供の人口が増えました。

3日間の研修のことをまとめますと、この町の宝を探して、それをどのように活用発信するか、この町は昔からどのような点が良かったかをあげ、それについて皆さんでどうすれば活気が戻るかを考える。地元でダメなら外部から手助けを頼むのか、これらのことを地域住民と行政が一体となった進め方が必要で、それを飽きずの一つ一つ継続して改善していくことで5年後10年後には町に活気が戻ってくると感じました。来年の伝建全国大会は長野市戸隠です。



丹波篠山市福住地区
福住本陣団地



全総理大臣 菅氏
特別基調講演

湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、会長まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

まちなみ瓦版

■令和 6年 1月 1日
■第 70 号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：藪野 博孝

新年のご挨拶



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

先ずは昨年鬼籍に入られました伝建地区住民の皆様並びに委員のご冥福を心よりお悔やみ申し上げます。

当会は昨年6月に新たな組織体制を確立し、運営において抜本的な改革を実施いたしました。尚且つ、過去3年に渡り世界中を震撼させた新型コロナ騒動もやっと5類に分類され世の中も徐々に動き出した一年でありました。

この過程において、私も一から伝建制度と伝統的建築手法について学ぶ努力を重ねてまいりました。未だ完全な理解に至っていない部分も多々ございますが、一層の知見を深めて参りたいと心より考えております。具体的な取り組みとして、まず初めに当協議会のウェブサイトの更新を再開し、その後、時代の要請に応じてFacebook(当会及び甚風呂)とInstagram(当会と甚風呂)4つの新規開設をいたしました。湯浅の歴史や保存地区に関する情報を発信しておりますので、ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。【QRコード記載しています】

また、イベントにおいては各団体にご協力を賜り、NPO まちなみの会様による『後のひな祭り』・NPO 湯浅遺産をまもる会様による『甲冑展示とタレントとの写真撮影』、更には北町ふれあいギャラリーにおいて各位による多様性の有る作品展示が行われ、観光客を含む多くの方々に楽しんで頂くことができました。イベント展示各位には心より御礼申し上げます。又、住環境の整備については、監視カメラの設置に関する提案を行いました。費用面および警察・行政との関連で陳情書の提出からとなりました。組織運営においては、令和6年度(4月)より一般会計と甚風呂特別会計の項目においてより分かりやすい形でシンプルに振り分けて決算会計を行うと決議いたしました。(誰が見てもわかり易く)以上のような進捗を報告いたしますと共に着実に前進しておりますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。令和6年が、皆様方にとりまして宜しい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。



甚風呂 Instagram



保存協議 Instagram



湯浅伝建地区保存協議会
会長 藪野 博孝



報告

保存協議会 役員会を開催しました

日時：令和5年10月27日（金） 午後7時より

場所：北の町老人憩の家 1階

参加者：会長、副会長、幹事3名、区長2名、事務局2名

内容：

- ・会長より前回の引継ぎ事項の説明
（行灯所有権・置場・SNS・その他）については解決しました。
- ・甚風呂の指定管理協定書における事業計画書の見直しについて、事務局と検討し意見交換した結果、来年度から変更実施する予定となります。
- ・協議会会員の慶弔について、連絡・弔問・供花・弔電等にて臨機応変に対応することと決まりました。
- ・今後「せいろミュージアム」の扱いについて、家主の意見を聞き預かり引き上げも検討することにしました。
- ・他府県伝建地区への視察と意見交換会の実施について、長らく中断していましたが、今年3月の日曜日の予定で奈良県橿原市今井町視察研修を行うよう調整することとなりました。
- ・甚風呂会計の見直しについて、保存協議会とは項目も完全に分けてしまう方向で、決定又会計業務は協議会で行うこととなりました。
- ・修復家屋の進捗と瓦版への詳細な掲載をすることはどうかという意見がありました。

具体的な方法を話し合い、活発な意見交換が行う役員会となりました。

詳細については、次回の瓦版でお知らせします。



まちの話題



NPO 湯浅まちなみの会が主催する、「重陽の節句 後の雛まつり」が9月9日～10月9日の日程で開催され、伝建地区内は華やかに彩られました。



北町ふれあいギャラリーでは、多くの作品が絶えず展示され、訪れる人たちで賑わっています。



10月22日、伝統ある秋まつりで馬上より当地を駆け抜けた若武者の甲冑母衣を北町で展示しました。

また、タレントの海老沢佳奈さんと写真撮影会を顯國神社と北町で行い、賑わいを見せていました。



甚風呂に関するお知らせ



甚風呂本館裏の井戸蓋、木柵や鍵、古いガラス戸及び手すり等建具の修理を行いました。



甚風呂別館の一部を模様替えしました。スタッフ等が制作した作品「布あそび」を展示しています。

雇用状況について、今後の課題を話し合いました。その中でスタッフから増員希望の要請があり、ワークシェアリングも検討しましたが、これまで通りとすることと会長が判断しました。

また、和歌山県の最低賃金改定に伴い、甚風呂スタッフの賃金も10月から引き上げしています。



文化財防火デー



毎年1月26日は全国一斉の文化財防火デーです

昭和24年1月26日に、法隆寺の金堂が火災により、壁十二面に描かれた仏画が焼損したことを受けて、文化財を火災から守ることの大切さを後世に伝え、防火意識を高めるために制定され、全国で文化財防火運動が行われています。

湯浅が重伝建地区の選定を受けてから18年目を迎えます。その間、町並の修理・修景が行われ保存されてきました。しかし、災害や人災による損失は保存されてきた日本の大切な文化を失うことになりかねません。各家庭で防火対策に努め、貴重な文化財である町並みを守りましょう。